



2016(平成 28)年 5 月 8 日発行 31 号 (通常隔月 25 日発行)

社会福祉法人
サンフレンズ 法人事務局地域福祉推進担当広報

〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-33-10

☎ 03-3394-9833 Fax 03-3394-9834

メール hozumi-kaneko@3friends.or.jp

ホームページ <http://www.3friends.or.jp/>

サンフレンズが地域住民と一緒につくる喫茶サロン サンカフェ上井草

6 月 12 日 (日) 出演予定



11:00~12:00 『皆で歌う音楽会』

出演：金子穂純

ゲスト：中川洋子さん



一三時〜十四時『サンカフェ寄席、落語&紙芝居』

色彩亭朝輔 (いろどりていちようすけ) さん…落語

幼少時に、落語を子守唄にして育つ。現在、社会人落語家として、福祉施設や児童施設・ライブハウス・バーなどで、杉並区・練馬区を中心に落語の口演活動を行っていらつしやいます。その他、一人芝居やイベント司会・ラジオDJなど多様なジャンルで活動中。

色彩亭てふてふ (いろどりていふてふ) さん…紙芝居

声優としてデビュー後、舞台、TV、ブライダルシンガー等で活動。現在は紙芝居師として活動中。特技は7色の声。落語に出てくる小僧や花魁、お化けや動物など様々なキャラクターを演じ分け、観客を魅了します。また、夫である色彩亭朝輔とともに、練馬放送「朝輔&てふてふの色彩亭シアター」のラジオDJとしても活動中。

連載 この人・この曲 ~第28回 色彩亭朝輔さん・てふてふさん「二人歩記」~



仕事も家庭も一緒、仲の良いお二人。6月が楽しみ。

今号のゲストは、6月のサンカフェ上井草に出演していただくことになった**色彩亭朝輔（いろどりていちょうすけ）さん**と、お仕事上のパートナーかつ奥さまでもある**色彩亭てふてふさん**。ご夫婦で定期的に通っている上井草スポーツセンターの帰り道にサンフレンズの掲示板をご覧になって「たくさんさんの素敵な出逢いがありそうな予感がして…」とご連絡をくださったお二人です。

朝輔さんは、埼玉県朝霞市のご出身。大の落語ファンだったお父様の影響で、物心がつく前から落語を聴いていました。小・中学校時代は、お父様が録りためた落語のテープを毎日寝床で聴いたため、落語には非常に詳しくなりましたが、その一方で同級生とは全く話が合わなかったそうです。

2011年に起きた東日本大震災で、当時福島県の避難区域に住んでいたお父様が埼玉県に戻っていらっしゃいました。

明らかに心身ともに元気を無くしていた姿を見て、何か元気づけられる事は無いかと考えた結果「小さい頃、親子で一緒に聴いていた落語を、息子が着物を着て話す姿を見せたら喜ぶのではないか？」と思い、そこから社会人落語家として活動が始まったそうです。

てふてふさんは、東京都出身。板橋区で育ちました。紙芝居との出会いは小学生の時。先生が読んでくださった紙芝居がとても楽しく、「私もやってみたい！」と自分でお話を考えて画用紙に拙い絵を描き、幼い弟に読んで聞かせたそうです。紙芝居の木杵（舞台）から登場人物が飛び出してくるような感覚がとても好きで、子どもだけでなく大人の方にも紙芝居を楽しんで頂けたら…、と日々工夫を重ねていらっしゃるとのことです。

お二人の出逢いは大学時代。お互いが長渕剛のファンということで意気投合、すぐに親しくなりました。それから〇〇年…。夫婦で始めたラジオ番組のタイトル『朝輔&てふてふのネリマチ歩記（あるき）』は、「練馬の街を歩いていろいろな出逢いを心に記そう！」という意味合いで、今回思い出の曲として挙げていただいた『**二人歩記（ふたりあるき）**』をもじって命名したそうです（現在は番組名を『朝輔&てふてふの色彩亭シアター』に変更）。その他、こどもたちと落語で遊ぶ『こども落語ワークショップ』の開催など、様々な活動をされているお二人。このインタビューの最後は、「色彩豊かな日々を夫婦で支え合いながらしっかりと歩きたい。そんな我々の『二人歩記』は、まだまだ道の途中です。」と、謙虚ながらも力強い言葉で結んでくださいました。

『二人歩記（ふたりあるき）』 長渕剛作詞・作曲 この曲を You Tube で聴いてみよう→<http://www.youtube.com/>

『二人歩記（ふたりあるき）』は、『巡恋歌』『順子』『乾杯』『とんぼ』などのヒット曲で知られるシンガー・ソングライター・**長渕剛**が1981年に発表した曲で、同年8月に結婚したアイドル歌手・**石野真子**との関係を歌ったものと言われていました。当時二人の交際が発覚したことにより、マスコミに追われる日々が続いたことから、歌詞の中に引越しによって新天地を求める描写が出てきます。二人の出会いのきっかけは、長渕剛が当時ラジオの深夜放送『オールナイトニッポン』（ニッポン放送）のDJを担当していた際に、番組のディレクターに頼んで石野真子のゲスト出演を依頼したことに始まったと言われています。ハワイでの挙式の仲人は、長渕剛が恩師と崇める**吉田拓郎**（高校時代に吉田拓郎のコンサートを見てシンガー・ソングライターになろうと決意した）と**浅田美代子**（こちらもアイドル）夫妻でした。芸能ニュースを賑わせたビッグ・カップルでしたが、残念ながら1983年に離婚（ちなみに吉田拓郎と浅田美代子も同年に離婚）。長渕剛の現在の奥様は、アクション女優・**志穂美悦子**で、ドラマでの共演を経て1987年に再婚しています。

「ウィキペディア」から一部引用させていただきました。

住み慣れた部屋を 今日限りひきはらい
また次の場所へ行こうと思うんだ
最後の荷物を車に積み込んだら
いろんな思い出がふと通りすぎた

ひとり暮らしの僕に 君はどんな時でも
花一輪のやさしさを 持ってきてくれた
だけど 朝になれば夢がさめる様
短いひとときが淋しすぎた

きのうまでのわざわい事に 別れを告げ
ドアを閉めて階段を降りる
あゝ 今度こそ しあわせになれる様に
そんな願いで 車をはしらせた
時の間の思い出は 置いて行こう

いくつもの夢といくつもの いたわり合いが
この街をあとに 長い影を引いて行く
「あなたとの暮らしが始まるのはいつからなの？」
涙するたびに そう問いかけてたね

いつわりのない君の そんな瞳を見た時
うすよごれた僕の 過去がうつっていた
だからもう君を 死ぬまで離しはしない
僕は君なんだし 君は僕なんだよ